

協会けんぽの2023(令和5)年度決算見込み(医療分)について

<協会会計と国の特別会計との合算ベース>

資料 1-1

令和6年7月5日
全国健康保険協会

<全体の収支状況>

- 2023年度は収入(総額)が11兆6,104億円、支出(総額)が11兆1,442億円、収支差は4,662億円で前年度から343億円の増加

<収入の状況>

- 収入(総額)は前年度から3,011億円増加
- 保険料収入は2,577億円増加。賃金(賞を含む。)の増加が主な要因であり、標準報酬月額伸びは前年度比+2.0%(制度改革の影響※を除くと+1.5%)。

※ 2022年10月実施の下記制度改革により報酬水準の低い被保険者が減少した影響で、平均標準報酬月額が上振れ
・従業員100人超規模の事業所の短時間労働者及び土業の事業所に勤務する者に被用者保険を適用(協会けんぽに新たに加入 +24万人)
・厚生年金・健康保険の適用対象であった国・自治体等で勤務する短時間労働者に公務員共済の短期給付を適用(協会けんぽから公務員共済へ移行 ▲94万人)

<支出の状況>

- 支出(総額)は前年度から2,668億円増加
- 保険給付費は1,993億円増加。加入者数は1.1%減少したものの、加入者1人当たり医療給付費が増加(+4.1%)したことが主な要因。
- 拠出金等は1,358億円増加。後期高齢者支援金の増加が主な要因。
- その他の支出は683億円減少。前年度に交付された国庫補助の精算等による国への返還が生じなかったことが主な要因。

<本決算のポイント>

- 保険料収入等による収入の増加(前年度比+3,011億円)が保険給付費や後期高齢者支援金等による支出の増加(同+2,668億円)を上回ったことにより、単年度収支差は前年度比で増加(+343億円)しているが、これは前年度の国庫補助の精算等が影響(その他の支出が前年度比683億円の減など)

注) 国庫補助の精算額の増減により2023年度の収支差は前年度対比793億円プラス方向へ底上げ(2022年度決算:674億円の支出(返還)、2023年度決算:119億円の収入(追加交付))

- 2023年度の収支は、収入・支出ともに前年度より増加しているが、主たる収入である「保険料収入+国庫補助等」は2,995億円(2,577+418)の増加、主たる支出である「保険給付費+拠出金等」は3,351億円(1,993+1,358)の増加であり、支出の方が収入よりも伸びている。そのため、単年度収支差は、実質的には前年度より縮小している。

- 協会けんぽの今後の財政については、団塊の世代が後期高齢者になることにより後期高齢者支援金の短期的な急増が見込まれ(2023年度:2兆1,900億円→2025年度:2兆5,300億円)、その後も中長期的に高い負担額で推移することが見込まれること、協会けんぽ加入者の平均年齢上昇や医療の高度化等により保険給付費の継続的な増加が見込まれる(2023年度:7兆1,512億円→2028年度:7兆6,600億円)こと等により楽観を許さない状況。

(→参考資料P19、24参照)

(裏面も参照)

協会けんぽ(医療分)の 2023 年度決算見込み

(単位:億円)

		2022 (R4) 年度		2023 (R5) 年度	
		決算	(前年度比)	決算見込み	(前年度比)
収入	保険料収入 <伸び率>	100,421	(+1,868) <1.9%>	102,998	(+2,577) <2.6%>
	国庫補助等	12,456	(▲7)	12,874	(+418)
	その他	217	(▲47)	233	(+16)
	計 <伸び率>	113,093	(+1,813) <1.6%>	116,104	(+3,011) <2.7%>
支出	保険給付費 <伸び率>	69,519	(+2,502) <3.7%>	71,512	(+1,993) <2.9%>
	[医療給付費]	[62,723]	(+2,125)	[64,542]	(+1,819)
	[現金給付費]	[6,796]	(+377)	[6,970]	(+174)
	拠出金等 <伸び率>	35,867	(▲1,271) <▲3.4%>	37,224	(+1,358) <3.8%>
	[前期高齢者納付金]	[15,310]	(▲231)	[15,321]	(+11)
	[後期高齢者支援金]	[20,556]	(▲1,039)	[21,903]	(+1,347)
	[退職者給付拠出金]	[1]	(▲0)	[0]	(▲0)
	その他	3,388	(▲746)	2,705	(▲683)
	計 <伸び率>	108,774	(+486) <0.4%>	111,442	(+2,668) <2.5%>
	単年度収支差	4,319	(+1,328)	4,662	(+343)
準備金残高	47,414	(+4,319)	52,076	(+4,662)	
保 険 料 率	10.00%	(±0.0%)	10.00%	(±0.0%)	

賃金の動向

	(万円)	
	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度
平均標準報酬月額 <被保険者1人当たり>	29.8 (+2.0%)	30.4 (+2.0%)

注) 年度平均の数値

医療費の動向

	(万円)	
	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度
1人当たり保険給付費 <加入者1人当たり>	17.4 (+4.6%)	18.1 (+4.0%)
(再掲) [1人当たり医療給付費]	[15.7] (+4.4%)	[16.3] (+4.1%)

加入者数等の動向

	(万人)	
	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度
加 入 者 数	4,001.1 (▲0.8%)	3,956.3 (▲1.1%)
被 保 険 者 数	2,514.9 (+0.1%)	2,515.3 (+0.0%)
扶 養 率	0.591	0.573

注) 年度平均の数値

※ 2023 年度末の準備金残高は保険給付費等に要する費用の 5.95 ヶ月分に相当。

※ 端数整理のため、計数が整合しない場合がある。また、数値については今後の国の決算の状況により変動し得る。